



平成 30 年 9 月 28 日
海 上 保 安 庁

東京から台湾南方に至る広範囲の海図を 10 年ぶりに改版します ～北太平洋の海図改版について～

海上保安庁は、9 月 28 日、北太平洋の南方諸島から南西諸島までを含む広範囲の海図「東京湾至ルソン海峡」を 10 年ぶりに改版し発行しました。
新しい海図には、海上保安庁が実施してきた海洋調査により取得した精密なデータを基に、海の深さや海底地形を描いています。

約10年ぶりに改版された海図^{*1}は、東京から日本の最西端の与那国島、最南端の沖ノ鳥島、東は小笠原諸島までを含む広大な区域を包含しています。

この海図には、海上保安庁が、海上の安全確保や海洋権益の確保といった、様々な目的のために実施してきた海洋調査により取得した精密なデータによって、海の深さを示す水深や等深線をより正確に描くことができ、日本の南方に存在する多くの海山^{*2}なども描くことができました。これらの海山には、海底地形名小委員会^{*3}に日本が提案し、国際的に承認された名称が付されています。

改版された海図は、航海計画の立案・検討などに使用されます。

海図の概要

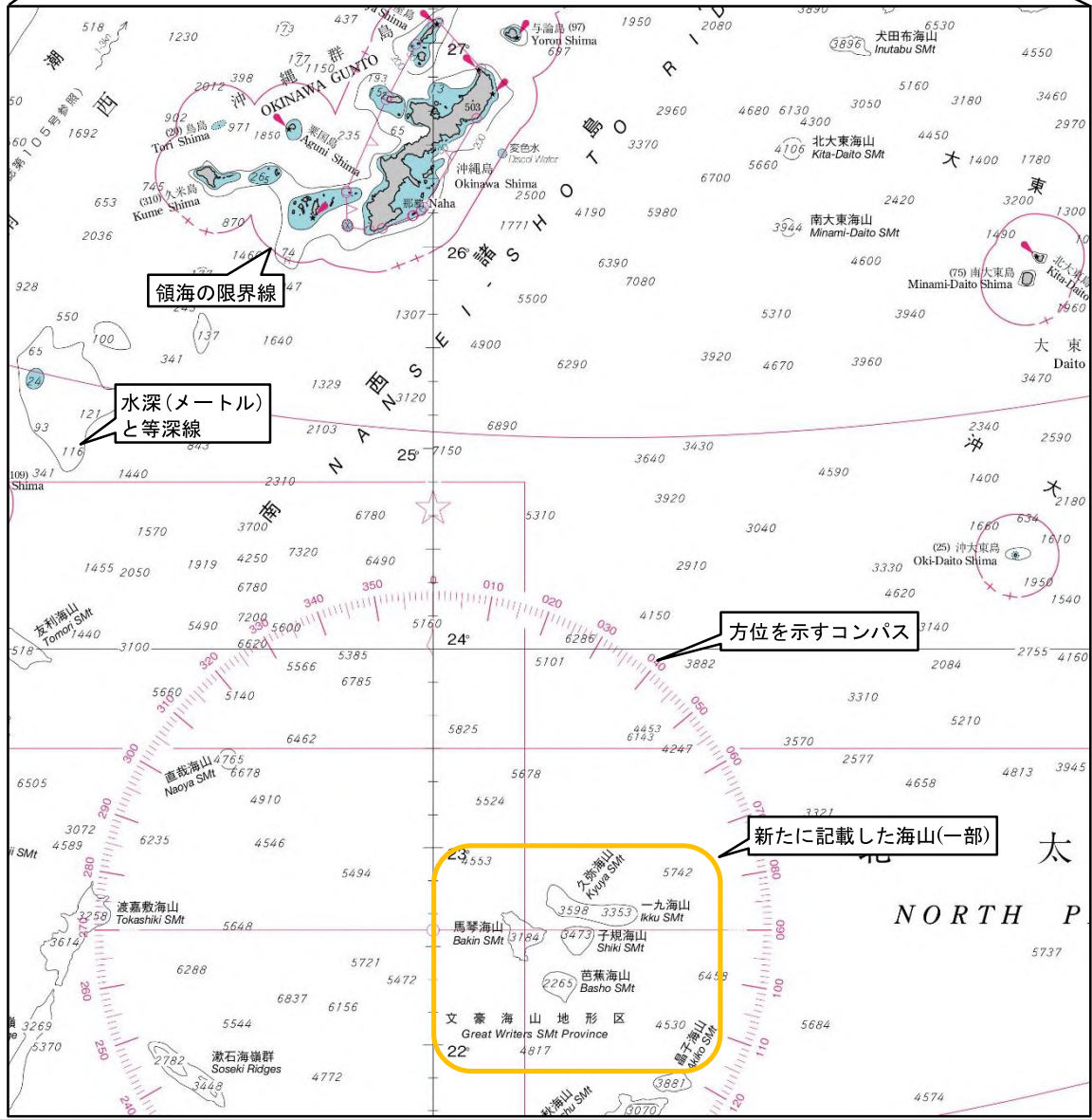
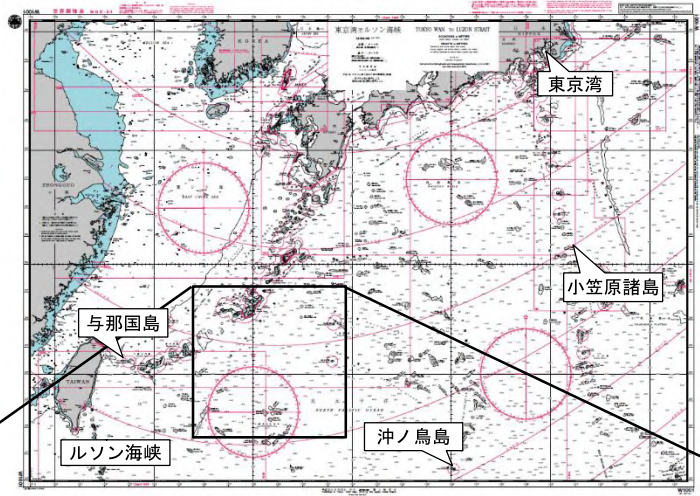
海図番号	図名	縮尺	大きさ	価格（税込み）
W1001	東京湾至ルソン海峡	1:2,500,000	765mm×1085mm	3,456円

海図は最寄りの水路図誌販売所又は取次店で購入できます。販売所等については、以下のホームページ「海図の購入方法（水路図誌販売所）」や当庁刊行の水路図誌目録をご覧ください。

ホームページ（海図の購入方法）

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/default.htm>

改版された海図



領海の限界線：領海の外縁を示す線

* 1 海図

船舶が安全かつ効率的に航海できるように、水深、底質、暗礁等の水路の状況、沿岸の地形、航路標識、自然・人工目標等その他航行、停泊に必要な事項を、正確に見やすく表現した図です。

* 2 海山

海底の地形で、一つの大きな孤立した高まりで、周囲の海底から1,000m以上の比高を持ち、特徴的に円錐形をなすものです。

* 3 海底地形名小委員会

国際水路機関(IHO)とユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の傘下で、世界の海底地形名を標準化する学術的な委員会で、IHO及びIOCから指名された計12名の専門家で構成されます。